



あづみ野ロータリークラブ 創立 25 周年記念

市民講座

講演：三つの力で腫瘍だけをたたく「アイマックスがん治療」

新しい がん免疫細胞療法 岡村正人先生

現在、日本人の2人に一人ががんに罹患し、3人に一人ががんで亡くなっています。日本では、がん対策基本法が施行され、国はがん死亡を20%減らす目標を掲げています。がん罹患者がよりよい医療を受けるために、何が必要なのでしょうか。

あづみ野ロータリークラブではクラブ創立25周年を迎えるにあたり、一般市民の皆さんに向けた、ガンに対する最新の治療法についての市民講座を企画しました。

講演者には講談社+ 新書の「樹状細胞療法」および「アイマックスがん治療」の著者で、武蔵野大学客員教授の岡本正人先生をお招きします。

岡本先生は、新しいガン治療、特に新しい免疫細胞療法と新しい放射線治療を中心とした「アイマックスがん治療・樹状細胞療法」のパイオニアで、世界を駆け巡り最新の医療現場でご尽力されておられます。この市民講座により市民の皆様が、ガンから自らを守る知識を共有していただけるようにしたいと考えています。

あづみ野ロータリークラブとは、昭和61年2月2日に創立例会を始めて、以来今年で25周年を迎えます。現在安曇野市を中心に45名の会員が、自分の職業を生かして世界や地域に奉仕していくことを目指しています。創立20周年記念の際には安曇野市に青少年育成のため青パト3台寄贈し、更に地域貢献とし、大王わさび農場に北にある三角島をロータリーの森として保全活動にも協力しております。またアジアの恵まれない子供たちのために、ミャンマー共和国に学校を寄贈し友好の輪も広がっております。今回創立25周年記念を向かえクラブとして市民講座の企画をしましたので大勢のご参加を希望します。



1：講師のプロフィール

岡本正人(おかもと まさと)先生徳島大学歯学部卒業、同大学院修了、歯学博士武蔵野大学薬物療法学研究室客員教授 テラ(株)取締役CSO(最高科学責任者)セレッククリニックで頭頸部・免疫療法外来を担当局所樹状細胞療法の理論を構築して臨床応用に通じた第一人者。2003年上村修三郎「がん研究」奨励賞、2004年日本頭頸部癌学会 Gold Prize 受賞
著書に『がんを狙い撃つ「樹状細胞療法」』、『三つの力で腫瘍だけをたたく「アイマックスがん治療」』(どちらも講談社+ 新書)があります。

日時：平成23年3月24日(木)

タイムスケジュール： 受付PM5:00~

開演PM5:30~ 終了PM7:00

場所：豊科ふれあいホール

参加：無料 先着100名

問い合わせ：0263-73-2901

(あづみ野ロータリークラブ)

